# rotork®

**Keeping the World Flowing for Future Generations** 



## IQT シャットダウンバッテリー

危険場所・非危険場所を問わず、 主電源消失時にフェイルセーフ動作を実行します

IQTシャットダウンバッテリーオプションはIQTアクチュエータ専用のオプションであり、危険場所・非危険場所を問わず、主電源消失時にフェイルセーフ動作を実行します。内蔵の電池パックがコンパクトな防爆遮断ソリューションを提供致します。

本アクチュエータのダブルシール筐体内のリチウムイオン電池が バックアップ電源の役割を果たしています。このように、筐体内に 電池を内蔵することで、アクチュエータの防水・防塵性と危険場 所等級を維持しています。

この遮断電池は、主電源喪失時には、指定したストローク終端 位置まで自動的にアクチュエータを作動します。なお、フェイル セーフ動作につきましては、お客様の要件に合わせて「フェイル クローズ」「フェイルオープン」「現在位置保持」「指定中間位置 へ作動」から選択することができます。

UPS(無停電電源装置)モードでは、電源消失時に、電池が切れるまでアクチュエータを通常通り運転し続けることができますので、この間、稼働に支障を来すことはありません。そのため、貴重な稼働時間が中断されることはなく、また、費用のかかる再起動作業も発生いたしません。

IQTシャットダウンバッテリーは、部分ストローク、Bluetooth無線通信、現場での速度調整、非侵入型IP68ダブルシール筐体等、既存IQTアクチュエータと同様の機能を標準搭載しています。

- ■電源喪失時には、バックアップ電源により、指定したフェイルセーフ動作、即ち、「フェイルクローズ」「フェイルオープン」「現在位置保持」「中間位置(開度\_%)へ作動」のいずれかを実行
- リチウムイオン電池パック内蔵
- → UPSモードでは、電池残量があれば通常通り、運転を継続することが可能
- 防水・防塵及び防爆
- 現場・遠隔を問わず、電池の残量や状態の監視が可能
- 電源が一時喪失しても運転の継続が可能なため、費用 のかかる再起動は不要
- 90度回転用(IQT)及びフルターン(IQTF)のトルクレンジ: 最大2,000Nm
- 現場で、またはPC用ソフトウェアInsight 2を使用して、カバーを取り外すことなく設定可能



## IQT シャットダウンバッテリー

危険場所・非危険場所を問わず、 主電源消失時にフェイルセーフ動作を実行します



#### アプリケーション

- 調整弁の遮断、インチング、モジュレーティング
- 部分ストロークテスト等のプロセス遮断(PSD)用バルブ
- 石油・ガスの生産、タンクファーム、化学物質の精製、産業プロセス、水処理・水供給等、プロセスの継続稼動が必要不可欠な場面
- プロセスガス(メタン)を動力源とする辺境地の空気式アクチュエータの代替機器として
- 信頼性の低い動力源に依存しているプラント
- 長距離パイプラインのポンプステーション等、太陽エネルギーを動力源とするアプリケーション(動力源の変動を軽減するため)
- 坑口装置のチョーク弁
- LACT(Lease Automatic Custody Transfer)等の切換え弁
- スプリングリターンアクチュエータの代替機器として
- 高価な外部電池を使用するアプリケーション

#### 仕様

- 使用温度:-40~+70℃。-20℃モデルの場合、周囲温度 が-10℃以上の場合に限り充電可。充電時間は、IQT取扱説 明書(PUB002-065)参照。
- 防爆ユニットのフェイルセーフ動作時のトルク

90°回転用 2,000 Nmリニア式(IQTF) 75 kNフルターン式 (IQTF) 2,000 Nm

- 重量: 22~37 kg
- サイズ: IQT125~IQT2000、IQTF125~IQTF1000
- デューティ: S2-15分、最高S4-50%
- 管休
  - 危険場所: ATEX, IECEx, CSA, CSAus
  - IP68(水深7m下で72時間)

#### 電池

- タイプ:リチウムイオンパック(外部環境から保護、電池の残量 や状態の確認が可能)
- 使用寿命:平均7年、最適な環境条件に設置した場合20年
- 保管寿命: 最長5年(満充電状態、且つ30℃以下で保管した 場合)
- アクチュエータの通常使用時に、アクチュエータの主電源から自動的に充電
- 電源喪失時に確実に機能するように、IQTのソフトにより、電池を管理
- 必要に応じて、電源復旧時に、自動的に通常運転に戻すこと が可能

\*IQTシャットダウンバッテリーは、主電源の一時切断時に、プロセス制御を維持することを目的としています。本オプションは、流量制御の喪失が人身傷害や人命にかかわるようなセーフティクリティカルな用途での使用を目的としたものではありません。このような機能が必要な場合は、その他ロトルク製品をご提案させていただくことがあるため、ロトルクの営業担当までお問い合わせ下さい。

バックアップ電源で実行可能な動作及び使用制限の詳細については、資料PUB002-065をご参照下さい。

世界各国の弊社販売拠点及び サービスセンターの一覧につ きましては、弊社ウェブサイトにてご確認頂けます。

Corporate Headquarters
Rotork plc

tel +44 (0)1225 733200 email mail@rotork.com

#### ロトルクジャパン株式会社

■本社 〒135-0015 東京都江東区千石2-2-24 電話 03-5632-2941 email sales japan@rotork.com

■大阪営業所 〒 590-0946 大阪府堺市堺区熊野町東2-1-19 電話 072-242-8844

### rotork

電動アクチュエータ及び制御システム フルードパワーアクチュエータ及び制御システム

手動及び電動用減速機

高精度制御と表示

プロジェクト、サービス、レトロフィット

www.rotork.com

PUB002-144-09 Issue 06/23 ロトルクでは、継続して製品開発を行っているため、そのプロセスの一環として、事前に通知することなく仕様を修正・変更する権利を留保しています。公開中のデータに関しては、変更される可能性があります。最新のデータにつきましては、弊社ウェブサイト www.rotork.com をご参照下さい。

Rotork (ロトルク)の社名は登録商標であり、ロトルクはあらゆる登録商標を認識しています。Bluetooth の文字商標及びロゴはBluetooth SIG,Incの登録商標であり、ロトルクはライセンス契約に基づいて使用しています。本書の制作・発行は英国で行っています。POLTG0224